

2016
Number
093

TAMA UNIVERSITY

Rapport

Contents

2015年度アクティブ・ラーニング発表祭	P.02
.....
SRC 2015 冬	P.03
.....
村山貞幸ゼミ・大森拓哉ゼミ 表彰	P.04
.....
フットサル部 優勝 経営情報学部 後援会 就職セミナー 報告	P.05
.....
キャリアサポート	P.06
.....
News	P.07
.....
寺島実郎監修リレー講座・公開講座案内	P.08



2015 年度 多摩大アクティブ・ラーニング発表祭

2015年12月12日、多摩キャンパス101教室と201教室にて、「2015年度多摩大アクティブ・ラーニング発表祭」(多摩大学地域活性化マネジメントセンター主催)が開催されました。

多摩大学28プロジェクトと、帝塚山大学(包括協定大学・奈良県)、東京経済大学の学生が「プロジェクト型地域学習」の成果を発表。会場にはプロジェクトにご協力いただいた行政、企業、NPO、地域の方々も出席され、発表に関する質疑応答も活発に行われました。
[URL] http://www.tama.ac.jp/cooperation/managementcenter/2015_ActiveLearning.html

101 教室		201 教室	
テーマ	発表者	テーマ	発表者
第 1 部			
地域再生の成功の方程式	インターゼミ (地方再生班)	近隣交流七輪プロジェクト 2015 [連携先] 聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会	梅澤佳子ゼミ
日の出町産業振興プロジェクト [連携先] 日の出町、日の出町商工会、日の出町観光ガイドの会ほか	奥山雅之ゼミ (地域産業・中小企業研究室)	地域商店街復興と大学複合 PR 冊子制作 [連携先] レストランシナモン	中村その子ゼミ
プロジェクトゼミ「事業構想入門講座(1)(2)」 [連携先] 一部上場企業等	見山謙一郎 プロジェクトゼミ	多摩市諏訪小学校放課後こども教室 「英語であそぼう」 [連携先] 多摩市立諏訪小学校	石川晴子ゼミ
諏訪小学校野菜バザーその後の展開・ 聖ヶ丘小学校農園プロジェクト [連携先] 多摩市立聖ヶ丘小学校	梅澤佳子ゼミ	多摩大を地域に PR	久恒啓一ゼミ
みんなの食卓プロジェクト 2015 [連携先] 聖ヶ丘 CC 運営協議会、多摩市青少年問題協議会連光寺・聖ヶ丘地区委員会、聖ヶ丘小学校、連光寺小学校ほか	梅澤佳子ゼミ	地域ビジネス研究プロジェクト [連携先] 中小企業数社	奥山雅之ゼミ (地域産業・中小企業研究室)
第 2 部			
地方自治体との連携によるラジオ番組企画出演 [連携先] FM 西東京、ジャーナリスト学校 in こだいら	中村その子ゼミ	多摩グリーンライフプロジェクト 2015 [連携先] 多摩市公園緑地課、多摩市立グリーンライフセンター、一本杉公園みどりの会、恵泉女学園大学	梅澤佳子ゼミ
エムールプロジェクト [連携先] 株式会社エムール	酒井麻衣子ゼミ	多摩グリーンライフプロジェクト II ～多摩しみどりのルネッサンス [連携先] 多摩市公園緑地課、多摩市立グリーンライフセンター、多摩市グリーンボランティア連絡会、恵泉女学園大学	梅澤佳子ゼミ
プロジェクトゼミ「集客施設のマーケティング I・II」 [連携先] 株式会社サンリオエンターテイメント	サンリオピューロランドゼミ	地域産業研究プロジェクト [連携先] 小豆島ヘルシーランドほか	奥山雅之ゼミ (地域産業・中小企業研究室)
スポーツごみ拾い [連携先] 一般社団法人 日本スポーツ GOMI 拾い連盟	久恒啓一ゼミ	新居由佳梨ピアノリサイタル [連携先] 新居由佳梨氏	樋口裕一ゼミ
多摩祭野外イベントプロジェクト [連携先] BAR<SCREW DRIVER>の野外イベントチーム S.O.S(吉祥寺)	松本祐一ゼミ	ニュータウン 2.0 ～ 多摩版 CCRC を中心とした高齢者にもやさしい街の構築～	インターゼミ (多摩学班)
招待発表			
「球場を満員にするプロジェクト」調査報告 一去年度も満員にするために～		帝塚山大学 経済学部「プロジェクト演習・スポーツ経済」、経営学部「実践的スポーツビジネス」履修者の皆様	
復興支援に挑戦する TEZU café (学生レストラン) プロジェクト		帝塚山大学 河合洋見ゼミの皆様	
日本酒企業におけるインバウンド型の海外需要獲得モデルの実証と提案		東京経済大学 山本 聡ゼミの皆様	
高齢者介護施設と空き家の新結合によるソーシャル・イノベーション			
TAMA の SAKE を知ろう！見よう！体感しよう！ ～ TAMA×SAKE プロジェクト～			
第 3 部			
志企業の会社案内プロジェクト [連携先] 地域中堅・中小企業 13 社 富士ゼロックス、弘久社、多摩信用金庫	梅澤佳子ゼミ 志賀敏宏ゼミ 酒井麻衣子ゼミ 石川晴子ゼミ 奥山雅之ゼミ	琉球国と東アジア交流 ～琉球史から沖縄の経済的自立を考える～	インターゼミ (アジアダイナミズム班)
プロジェクトゼミ「メディア実践論 I・II ～メディアをつくる・大学発情報発信をめざして～」 [連携先] 八王子織物工業組合ほか多摩織関係者 多摩川・ニケ領せせらぎ館など	木村知義 プロジェクトゼミ	コミュニティラジオ局での大学情報発信番組の制作出演 [連携先] FM 西東京	中村その子ゼミ
訪日リピーターに日本の魅力を発信し、日本通を育てるための SNS の利活用 ～沖縄観光と日本食文化を例として～	インターゼミ (サービス・エンターテインメント班)	野沢温泉ブランディングプロジェクト [連携先] 野沢温泉	中庭光彦ゼミ (地域政策・観光まちづくり研究室)
地域学生センター [連携先] UR 都市機構、多摩市役所、聖ヶ丘コミュニティセンター(ひじり館)	地域学生センター 入居学生	多摩大フットサル大会	久恒啓一ゼミ



SRC (Student Research Conference) 2015 冬 発表

2015年12月12日、多摩キャンパスにてSRC (Student Research Conference) が開催されました。

SRCは、経営情報学部の学生がゼミの研究成果発表を行う場で、年2回(夏・冬)行われています。今回のSRCでは飯田健雄ゼミ、出原至道ゼミ、今泉忠ゼミ、梅澤佳子ゼミ、大森拓哉ゼミ、彩藤ひろみゼミ、杉田文章ゼミ、バトルゼミ、村山貞幸ゼミ、諸橋正幸ゼミの各ゼミ所属の学生による合計29件の発表がありました。また2階ホールでは、彩藤ひろみゼミの学生により、人間の動きをセンサーで捉えて魚の動きを制御するシステム「海中探検」が実演を通して紹介されました。発表の場には教員や学生が多数出席し、熱心な質疑応答が繰り広げられ、学生にとって日頃の研究活動について切磋琢磨できる貴重な機会となりました。

【URL】 <http://src.tama.ac.jp/>

教室 112

奥村亜瑞美	スポーツ(サッカー)人気を定着させるためには何が必要か	杉田文章ゼミ
池田 周平	卒論発表「ギャンブルをやめられない人間の行動心理の研究」	大森拓哉ゼミ
和賀 勝哉	マクドナルドとモスバーガーのビジネス展開の比較	諸橋正幸ゼミ
大竹 脩斗	JR 中央線の現状と課題	バトルゼミ
石川 敬太	村山ゼミ 日本大好きプロジェクト 増上寺七夕イベント	村山貞幸ゼミ
伊藤 功記	村山ゼミ 日本大好きプロジェクト 東京ミッドタウンイベント	村山貞幸ゼミ
橋本 祥希	卒業研究「憩いの場として地域の拠点となる公園の一考察」	梅澤佳子ゼミ
石井 湧大	卒業論文「子どもを育てるスポーツ指導について ～指導者の現状から問題解決への一考察～」	梅澤佳子ゼミ

教室 211

楠本 和哉	日本の観光資源の価値	杉田文章ゼミ
西川 駿	村山ゼミ 日本大好きプロジェクト N班(子どもイベント 工芸、武道など)	村山貞幸ゼミ
栗生 朋奈	村山ゼミ 日本大好きプロジェクト P班(子どもイベント 茶道、紙芝居など)	村山貞幸ゼミ
織田 直樹	卒業研究「日本の宿泊施設の『おもてなし』」	梅澤佳子ゼミ
小島 拓弥	卒業研究「外国人観光客向け案内表示の問題解決ー東京の地下鉄の事例研究」	梅澤佳子ゼミ
高橋 翔太	日中若者の交流の可能性 ～多摩大学と広東財経大学を事例として～	バトルゼミ
塩入 勇	シリアー混迷と危機	飯田健雄ゼミ

教室 212

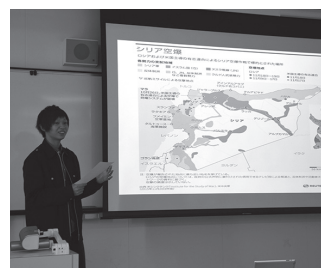
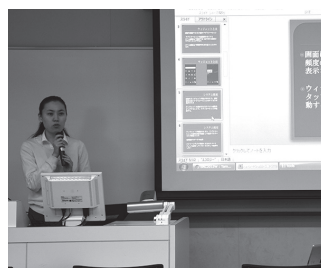
高橋 健太	短所を長所に言い換える	諸橋正幸ゼミ
大野 翔平	多摩大版 不満買取センターの設立は可能なのか	バトルゼミ
中山 修平	匂いによる味覚の変化	大森拓哉ゼミ
高山 和久	卒論発表「スマートフォンゲームアプリの魅力 生活環境と課金の関係性の研究」	大森拓哉ゼミ
高橋 昌典	野球好き女子の増加の理由と野球観戦の新たな価値について	杉田文章ゼミ
内藤勇之助	トレンド・アナレティクスの可視化による施策案	今泉忠ゼミ
長谷川宗真	見たくなるCMとは何か	諸橋正幸ゼミ

教室 221

藤田 元気	村山ゼミ 日本大好きプロジェクト 六本木アートナイト	村山貞幸ゼミ
武井 駿哉	村山ゼミ 日本大好きプロジェクト J班(子どもイベント 影絵、音楽など)	村山貞幸ゼミ
前田 佑樹	心理効果の社会的効果	大森拓哉ゼミ
張ヶ谷芳子	時間帯による起動アプリケーションの自動変更を可能とするウィジェット	出原至道ゼミ
宇野 裕介	バーチャルリアリティ技術を利用した変身体験システム	出原至道ゼミ
井手 祐輔	海中体感システムの研究	彩藤ひろみゼミ
長澤 駿	世界と日本の音楽市場の売上	諸橋正幸ゼミ

2階ホール

彩藤ひろみゼミ 海中探検



村山貞幸ゼミ 「社会人基礎力育成グランプリ 2016」 決勝大会で準大賞受賞

2016年2月22日、「社会人基礎力育成グランプリ2016」（主催：社会人基礎力協議会、共催：経済産業省、後援：日本商工会議所・公益社団法人経済同友会）全国決勝大会で、村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」が準大賞を受賞しました。

「社会人基礎力」とは「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、2006年に経済産業省によって提唱されたものです。「社会人基礎力」育成事業の一環として、2007年度から全国の大学における育成事例とその成果を学生チームが発表する「社会人基礎力育成グランプリ」が開催されています。

今年度は、46大学55チームが参加し、全国6ヶ所で地区予選大会が行われました。拓殖大学で開催された全国決勝大会には、地区予選大会で優秀賞に選ばれた8チームが出場し、活動の成果を発表しました。村山ゼミの学生は、日本の伝統文化の伝承を目的とし、年間300回以上の訪問イベント、増上寺や商業施設での和紙キャンドルを用いた大型イベントの企画・運営などを行う「日本大好きプロジェクト」について紹介し、活動をしていく上での困難、苦悩、喜び、達成感などチームとともに成長していく様子を力強く発表しました。



大森拓哉ゼミ 第63回東京都統計グラフコンクール パソコン統計グラフの部 入選および全国大会出場

2015年11月、「第63回東京都統計グラフコンクール パソコン統計グラフの部」にて、大森拓哉ゼミ3年生小野有稀さん、西澤慶人さん、野上英樹さん、服部敦さんの共同作品が上位5作品に入選し、全国大会出場を果たしました。

東京都統計グラフコンクールは、統計知識の普及向上と統計の表現技術の研鑽に資することを目的として、都内の児童、生徒、学生及び一般社会人を対象に毎年実施されています。コンクールに参加し始めて8年目となりますが、今年度から久保田貴文ゼミと共に参加し、作品数1,660点（総勢1,957名）の応募があった中、『パソコン統計グラフの部』では、一次・二次・本審査（最終審査）を経ての二年連続での受賞となりました。

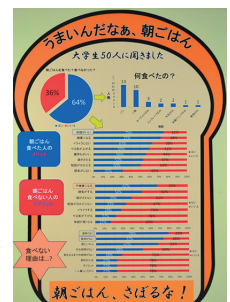
大森拓哉ゼミでは、人の考えや情報を的確に把握・分析し、わかりやすく伝えることを目的として活動しています。このコンクールはそのひとつの成果発表の場として、これからも継続して参加していく予定です。

【審査員コメント】

このポスターの特徴は、食パンのデザインの中に、青と赤で、読みやすく棒グラフが作図されていることです。50人の調査で、朝ご飯を食べた人のメリットは「体調がいい」、食べない人のデメリットは「不健康になる」という結果が得られたので、さぼらないで食べるのが大事ということですね。



表彰式にて。後列左から4名が多摩大生



帝塚山大学 発表祭

インターゼミ多摩学班・地域学生センター入居学生発表

2016年2月27日帝塚山大学（奈良県）東生駒キャンパスにて行われた「第4回帝塚山大学「実学×プロジェクト」実践学生発表祭」に、インターゼミ多摩学班と地域学生センター入居学生（担当教員：奥山雅之 准教授）が参加しました。

両大学は2010年11月、学術交流に関する包括協定を締結し、毎年双方の研究発表祭に参加・発表しています。今回、帝塚山大学5学部2研究科8チーム、奈良県立奈良情報商業高校1チーム、合計11チームが研究成果を発表し、全体講評を諸橋正幸多摩大学地域活性化マネジメントセンター長が行いました。発表祭終了後のTEZUKAYAMA FOREST CAFÉでの懇親会では、和やかな懇親により交流を深めました。



JTB地球いきいきプロジェクト

第4回「ゴミ拾いはスポーツだ！」多摩祭実行委員会チーム参加

2016年2月21日に『JTB地球いきいきプロジェクト 第4回ゴミ拾いはスポーツだ！ in TAMA Center』が開催され、多摩大学の多摩祭実行委員会チームが見事優勝しました。このイベントはゴミ拾いを「環境奉仕活動」から日本発の新しいスポーツとして普及させることを目的としています。1チーム6名で、決められた地域のゴミを拾い、その重さと質を競うものです。本活動は久恒啓一ゼミが研究テーマとして継続的に参加しています。今回初めて参加した実行委員長の玉木さんは「地域のゴミの状況について身近に知る良いイベントでした。11月の多摩祭でも地域貢献のため是非実施を検討したいと思います」と語りました。



東京都大学フットサルリーグ2連覇！関東大学フットサルプレリーグ準優勝！

多摩大学体育会フットサル部は、2016年1月31日「東京都大学フットサルリーグ」の最終戦で東京工業大学 Tokyo tech との試合に勝利し無敗で優勝、昨年に続く2連覇を達成。2月21日「関東大学フットサルプレリーグ」では順天堂大学ガジルとの最終戦を終え、準優勝となりました。この結果をうけ、上位2チームに与えられる「KOBEカップ2016第3回全国大学フットサルリーグチャンピオンシップ」への出場権を獲得しました。選手たちは勝利への強い意志をもって試合に臨み、教職員や学生たちは会場で熱い応援の拍手を送りました。

●**福角有紘 監督**：目標に向かって学習、練習、アルバイトを続けてきた学生たちの努力、大学の教職員や関係者の方々の支援と応援、皆の力があつたからこそ勝ち続け、結果を残すことができました。フットサルを通して彼らの学生生活が充実したものとなるように、良いところを伸ばしていきたいと考えている。大学フットサル日本一になることは、皆の目標であり夢。学生には「オフ・ザ・ピッチ」の精神で大学のシンボルとなるように、自らの力で自分たちの価値を高め、社会に出たときに活かしてほしいと思う。フットサル部設立からちょうど4年だが、学生たちは思った以上の成果を出してくれた。次のステップに向かって、力をつけていかなければと思っている。

●**キャプテン 渡辺大輔 選手 (2年・11番・ピヴォ)**：東京都大学リーグではチーム丸となって勝ち続けてきたので、優勝できてよかった。監督の存在や施設など整った環境の中で、監督が考えた素晴らしいプログラムで練習してきたことが勝利につながったのだと思う。一人一人個性をもった楽しいチームで、自分の成長を感じることができる。キャプテンとしてしっかりできるよう普段から気をつけている。

●**渡邊十夢 選手 (3年・24番・ピヴォ)**：東京都大学リーグの最終戦に出場し、優勝に貢献できたことを実感。チームとしてオンとオフの切り替え「オフ・ザ・ピッチ」を一人一人が意識している。オフのときは先輩後輩関係なくはしゃぐが、ピッチの中ではそれぞれが強い気持ちをもって戦っている。「オフ・ザ・ピッチ」の精神を持っていたから、チームが一つになって勝利できたと思う。

●**顧問 杉田文章 教授**：フットサル部設立から丸4年、選手は頑張るすぎるくらい頑張り、思っていた以上に成長してくれた。順天堂大学戦では難しいパワープレイにも挑戦し、監督はぶれずに指導してくれている。最終戦では裏方で頑張っていた唯一のサッカー・フットサル未経験の選手を出場させるなど、多摩大フットサル部は単なる競技志向のチームではない素晴らしいチーム。将来、確実に頂点を極めるだろう。何よりも競技優先ではなく、普通の学生生活をしながら日本一を目指すからこそかっこいいし、それを目指すべきだと思う。

彼らだけでなく、これから入学してくる1年生もしっかり大学全体で迎え入れて、ピッチの外でもバックアップし、人間的に成長してピッチの中で思いっきり活躍してもらおう。「ここで学んだことにより、社会人として大成功することが本当の成功である」と教員は理解を共有しているので、その確率は高いと思っている。彼らが頑張ってくれているから皆が夢を見られるし、彼らは多摩大がさらに良くなっていくためのシンボルでもある。引き続き大学全体で応援していきたい。



経営情報学部 後援会主催 就職セミナー 報告

2016年2月28日、多摩キャンパスにて「経営情報学部後援会主催 就職セミナー」が開催されました。就職セミナーは第1部 講演およびセミナー、第2部 就勝情報交換会・ゼミ別懇談会・個別相談会が行われ、多くの保護者の皆様の参加がありました。

○第1部 講演およびセミナー

後援会長 米倉裕様の挨拶の後、久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長より「多摩大学アクティブ・ラーニングへの取り組み」についてカリキュラムの特色、就職状況、4年間の学生生活から内定への道筋について説明がありました。次に、奥山雅之准教授(就職委員)より「多摩大における就職観形成の具体的な試み」について、各地の志企業視察(実習)や多摩地域の企業を学生が取材し、会社案内を制作する取り組みなどが紹介されました。杉田文章教授(就職副委員長)からは、「カリキュラムとしての就職支援体制」について、キャリア教育とキャリア支援の一体化を進める中での

新年度カリキュラムについて説明があり、最後に浜田正幸教授(就職委員)より就職活動の現状と対策、最新情報をお伝えしました。就勝スケジュールについては、12月末までに事前準備を終わらせるなど早めの就活が大切であり、保護者の方には、「温かく見守りながら少し背中を押すような支援」の願いがありました。

○第2部 就勝情報交換会・ゼミ別懇談会・個別相談会

「就勝情報交換会」では、就職委員(教員)と内定を獲得した卒業予定者が、保護者の方々の質問等に体験を交えながら応じ、活発な話し合いが行われました。並行して実施された「ゼミ別懇談会」では保護者の方とゼミ担当教員がゼミの活動内容や学生生活などについて語り合いました。また事務職員による進路相談・履修・留学・学生生活などの質問に対応する「個別相談会」も行われ、ご参加いただきました保護者の皆様に有意義な時間を過ごしていただけたのではないかと思います。



久恒啓一副学長(兼)学部長の講演



杉田文章就職副委員長による講演



熱心に聞き入る保護者の方々



ゼミ担当教員との懇談会の様子

[新3年生対象] 2016年度 キャリア支援講座

4月より就職支援講座が始まります。昨年度より講義科目として単位認定されるようになりました。3年生全員に履修してもらいたい講座です。4年生も受講できます。秋学期はより実践的な講座を開講し、並行して学内で業界セミナー、合同企業説明会を開催します。

春学期	火曜日 4限【14:40～16:10】		火曜日 5限【16:20～17:50】	
	【就職活動を学ぶ】 『キャリアデザインⅢ』単位認定		【就職活動を体験する】	
春学期	テーマ		テーマ	
1	4月12日	第一回授業：ガイダンス		
2	4月19日	就職活動全体像・キャリア支援講座の流れ		
3	4月26日	就職活動で大切なこと	資格取得支援説明会	資格取得、費用補助などについてお話しします。大学での学びを資格につなげてください。
4	5月10日	企業人事の眼①		夏休みのインターンシップ(科目)のみならず、参加の前に必ず受講してください。
5	5月17日	正規・非正規/上場・未上場		
6	5月24日	就業力強化①	インターンシップ説明会(24日・25日、どちらか出席)	
7	5月31日	ビジネスマナー講座	インターンシップ事前講座A(またはBどちらか出席)	
8	6月7日	就活サイト仮登録・使い方	インターンシップ事前講座B	
9	6月14日	就業力強化②	就業力強化実践①	就職に対する意識を高めていきます。
10	6月21日	適職探しのポイント		
11	6月28日	公募制インターンシップ	スーツ着こなし講座	就職活動に適したスーツの選び方、着こなし方、またネクタイやバック、靴(携帯品)などについて詳しく説明。購入する前に必ず出席してください。
12	7月5日	企業人事の眼②		
13	7月12日	先輩体験談		
14	7月19日	文章表現力講座	社会人と接する	
15	7月26日	夏休みの過ごし方		

秋学期	火曜日 4限【14:40～16:10】		火曜日 5限【16:20～17:50】	
	【就職活動を学ぶ】 『キャリアデザインⅣ』単位認定		【就職活動を体験する】	
秋学期	テーマ		テーマ	
1	9月27日	第一回授業：ガイダンス		
2	10月4日	筆記試験対策講座		
3	10月11日	全国一斉模試受験	模試解説講座	
4	10月18日	職業適性検査(VRT)受験		
5	10月25日	就業力強化③	就業力強化実践②	就職に対する意識を高めていきます。
6	11月1日	業界研究・仕事研究：基礎編		
7	11月8日	表現力の大切さを学ぶ①	第一印象を良くする	
8	11月15日	表現力の大切さを学ぶ②	表現力向上実践	
9	11月22日	ビジネスマナー・着こなし講座	模擬グループ面接①	
10	11月29日	志望動機の作り方：基礎編	志望動機を作る①	
11	12月6日	自己PRの作り方：基礎編	自己PRを作る①	
12	12月13日	自己PRの作り方：応用編	自己PRを作る②	
【第一回業界セミナー】予定				
13	12月20日	志望動機の作り方：応用編	志望動機を作る②	
14	1月10日	インターンシップ講座	模擬グループ面接②	
15	1月17日	面接対策講座	企業人事面接体験	

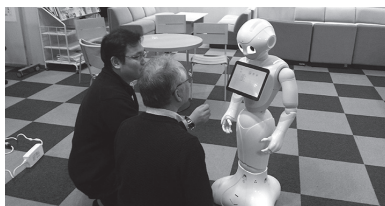
※講座の内容は変更になる場合があります。学内の掲示ポスター、T-Nextをご確認ください。

多摩キャンパスに Pepper (ペッパー) 登場!

2015年12月28日、経営情報学部に“Pepper”(ソフトバンク)が仲間入りしました。

経営情報学部では、「ビッグデータ」に象徴される高度情報化時代に求められる人材像を「顧客視点とマーケティング感覚を身につけ、技術に強いICT人材」としてその育成を行っており、現在の企業活動においてはIoTに代表されるようにクラウドの活用とインターフェイスとしてのロボットを利活用できる人材の育成が重要となってきています。

そこでクラウドサービスをもとに自分の判断で動くことのできるロボット“Pepper”で、ロボット利活用について学ぶと共に、独自にアプリ開発などを行うことで、ICT運用能力・利活用能力を向上させたいと考えています。



初期設定を行う今泉先生、久保田先生と緊張気味の Pepper

身長 121cm
体重 29kg
特技 軽快な語り口調で皆の心を癒すこと
ダンス
好きなこと 頭でなで
お父さん 今泉忠先生
お母さん 久保田貴文先生

はじめましてPepperです。教育サポート室に会いに来てください。



多摩大学と名城大学の学術交流及び連携に関する包括協定 締結

2016年1月5日 公立名城大学（沖縄県）にて、多摩大学と名城大学は、学術交流及び連携に関する包括連携協定を締結しました。本協定は教育・研究活動全般における交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の一層の発展と人材の育成及び地域社会の発展に寄与することを目的としています。

名城大学は沖縄県名護市にある公立大学で、学生数は2,057名。国際学群（1,285名）と人間健康学部（スポーツ健康学科：416名、看護学科：356名）があり、人文科学・社会科学・自然科学を幅広く学び、深い知識と思考力を持った国際的教養人を育てる「リベラルアーツ教育」を推進している大学です。

本学は、藤沢市、藤沢市観光協会と提携し、2020年のオリンピック、パラリンピックに協力することとなり、名城大学との協定締結により、観光・ホスピタリティを軸に相互に連携を深め、単位互換もおこなっていきます。 多摩大学と名城大学の教職員による記念写真



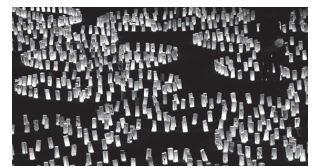
子どもたちとクリスマスパーティ開催

2015年12月23日に多摩キャンパス学生食堂で近隣の子どもたち・その保護者の方を対象としたクリスマスパーティが開催されました。このイベントは学生会と同窓会が共同で企画したもので、多摩大学の魅力を小さなお子さんにも知ってもらうために今年初めて開催されたものです。当日は近隣の子どもたち23名とその保護者14名が参加し、手作りの粘土キャンドルとクリスマスオーナメントを学生会・多摩祭実行委員・留学生と一緒に作成しました。その後、村山貞幸ゼミ生による日本民話の紙芝居、投扇興体験が行われました。イベントの最後には新多摩祭実行委員長扮するサンタからプレゼントを手渡し、子どもたちは楽しい時間をすごしました。参加した保護者の方から「留学生や多摩大生との交流は子どもたちにとって良い経験だった」「初めて学生食堂に入ることができてよかった」「学生のサポートがすばらしく、楽しかった」との意見が寄せられました。 子どもたちと一緒に粘土キャンドルを作成 学生サンタから子どもたちにプレゼント



村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」和紙キャンドルガーデン—TOHOKU 2015—in 多摩

2015年12月12日 多摩キャンパス芝生エリアで、村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」による「和紙キャンドルガーデン—TOHOKU 2015—in 多摩」が開催されました。「日本大好きプロジェクト」は日本の伝統文化を伝承する活動として、幼稚園、保育園、児童館、高齢者施設などへの訪問イベントを年300回以上、神社仏閣や商業施設などでの大型イベントを年数回行っています。2011年からは東北の想いを伝え続けることをテーマに、東京ミッドタウンで「和紙キャンドルガーデン」を実施してきました。ゼミ生たちが一枚一枚手漉きでつくった和紙に描かれているのは、福島、宮城、岩手の被災地38市町村を回って集めた2,715人の方々のメッセージです。学内では初めての開催で、T-Studioの外壁には東北の人々からのメッセージもプロジェクターで映し出され、想いが伝えられました。 キャンパスに灯る和紙キャンドル



〈グローバルスタディーズ学部主催〉寺島実郎学長基調講演「グローバル化する観光産業の人材育成と活用Ⅳ」観光連携等協力協定締結記念シンポジウム 開催

2015年12月10日 藤沢商工会館ミナパークにて、第4回グローバルスタディーズ学部主催のシンポジウムを開催しました。

多摩大学は、同年11月に2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、藤沢市の観光発展の為、藤沢市と藤沢市観光協会の三者による協定を締結。シンポジウムでは協定締結を記念し、始めに鈴木恒夫藤沢市長よりご挨拶があり、続いて安田農一グローバルスタディーズ学部長による「公立名城大学との連携について」、堂下恵准教授による「藤沢市、藤沢市観光協会、多摩大学の協定締結について」、最後に寺島実郎学長による「新たな視界からの観光戦略～藤沢の役割～」と題した基調講演が行われました。

グローバルスタディーズ学部では、従来どおりの英語教育、コミュニケーション力向上に加え、中国人観光客誘致のために中国語や中国関連科目を導入し、さらにオリンピック・パラリンピックのテストマッチ（2018年）、プレオリンピック（2019年）、そして東京オリンピック・パラリンピックをサポートするための観光関連の科目や「スポーツとオリンピック」をテーマにした科目導入も視野に入れています。本学は、これからも時代認識に重点を置きながら人材育成に取り組んでいきます。

〈多摩大学大学院主催〉大学院公開特別セミナー 開催

2016年2月3日 多摩大学大学院品川サテライトにて、寺島実郎学長による特別公開セミナーを開催しました。

経済や世界情勢が不安定になる中で強い成長力を再構築するために、ビジネスにおいても社会においてもイノベーションが今ほど求められている時代はありません。そしてそのような未来へ向けてのイノベーションの原動力は、ビジネスパーソン自身のライフイノベーション、未来へ向けての強い思いです。寺島実郎学長は「これからのビジネスパーソンに求められる能力～時代認識の深さと実践知～」として講演を行い、ビジネスパーソンたちが、これからどのような思いを持って自らのキャリアを通じて力をつけていくべきか、時代認識を持ち、新しい道を創っていく実践的な知恵をどう身につけるべきかについて考える場となりました。併せて、2016年度の入学希望者、および派遣を検討されている企業の皆様のために、大学院の徳岡晃一郎研究科長およびMBAコース修了生の株式会社ファンケル社長室秘書グループ課長 遠藤理央氏、株式会社チェンジ・アーティスト代表取締役 荻阪哲雄氏が、カリキュラムの特徴や学びの価値などについて紹介しました。

多摩大学 寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座IX 2016 年度春学期

「改めて世界と日本を考える 一時代認識の深化に向けて」

9年目に入る現代世界解析講座だが、改めてより深く世界と日本を再考することを試みたい。冷戦終焉後 25 年が経過し、世界はフラットに均質化していくかに見えて、宗教、民族といった要素がむしろ強く動き始めている。混迷の時代における日本の立ち位置を探ってきたい。

多摩大学学長 寺島 実郎

【会 場】多摩大学 多摩キャンパス 001 教室 【時 間】14:50～16:10 (受付開始 14:00)

【受講料】一般 12,000 円 (全 12 回分)

特別割引受講料 10,000 円 *多摩大学後援会会員、多摩市および稲城市の在住・在勤者、他大学学生、多摩大学卒業生・大学院修了生

【主 催】多摩大学 【監 修】寺島実郎 (多摩大学学長) 【後 援】多摩信用金庫

	開講日	講師 (敬称略)	肩書・役職等	講演テーマ
1	4月14日 (木)	寺島 実郎	多摩大学 学長 (一財) 日本総合研究所 理事長	「世界の構造変化と日本の立ち位置」
2	4月21日 (木)	下斗米 伸夫	法政大学 法学部教授	「プーチン・ロシアはどこへ」
3	4月28日 (木)	金 美德	多摩大学 経営情報学部および 大学院経営情報学研究所教授	「緊張高まる朝鮮半島の行方」
4	5月12日 (木)	藤原 帰一	東京大学大学院 法学政治学研究科教授	「国際秩序の現状 アメリカの後退と国際紛争」
5	5月19日 (木)	寺島 実郎	多摩大学 学長 (一財) 日本総合研究所 理事長	「日本経済の構造解析 - アベノミクスを超えて」
6	5月26日 (木)	粕谷 賢之	日本テレビ放送網株式会社 執行役員 メディア戦略局長	「日本政治の近未来とメディア環境の変化」
7	6月 2日 (木)	田中 優子	法政大学 総長	「布のちから - 江戸時代におけるものと人間 -」
8	6月 9日 (木)	金子 邦博	多摩大学 経営情報学部教授 公認会計士	「国の財政状態と政策の暖簾的な価値を考える」
9	6月16日 (木)	寺島 実郎	多摩大学 学長 (一財) 日本総合研究所 理事長	「17世紀オランダからの視界 - 近代とは何だったのか?」
10	6月23日 (木)	宮田 律	一般社団法人現代イスラム研究セン ター 理事長	「宗教・民族・石油 - 中東イスラム紛争の構造」
11	6月30日 (木)	保科 剛	日本ユニシス株式会社 最高技術責任者	「Beyond 2020 情報社会の未来に向けて」
12	7月 7日 (木)	寺島 実郎	多摩大学 学長 (一財) 日本総合研究所 理事長	「2016年夏、世界をどう認識するか」

【お問い合わせ】多摩大学寺島実郎監修リレー講座事務局 TEL: 042-337-7185 E-mail: relay@gr.tama.ac.jp

2016 年度 春学期 T-Studio 公開講座

地域社会の発展に寄与し、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学の教授陣による公開講座を開催します。

【会 場】多摩大学 多摩キャンパス T-Studio 2F セミナールーム

【受講料】各回 1,000 円 (多摩大学後援会会員・リレー講座受講者 無料)

開講日	時 間	講 師	テ ー マ
4月14日 (木)	13:00～14:00	飯田 健雄 教授	人生を幸せに生きるための英語 I
4月21日 (木)	13:00～14:00		人生を幸せに生きるための英語 II
4月28日 (木)	13:00～14:00	松本 祐一 准教授	健康まちづくり産業
5月12日 (木)	13:00～14:00	椎木 哲太郎 教授	多摩の政治家群像 - 戦前・戦後期を中心として -
5月19日 (木)	12:30～14:30	株式会社ファンケル ヘルスサイエンス	「健康セミナー」: 脳年齢を若くする
5月26日 (木)	13:00～14:00	バートル 准教授	中国語を学び中国を知ろう I
6月 2日 (木)	13:00～14:00		中国語を学び中国を知ろう II
6月 9日 (木)	11:45～12:45	石川 晴子 准教授	やさしいおもてなし英会話 I
6月16日 (木)	11:45～12:45		やさしいおもてなし英会話 II
6月23日 (木)	13:00～14:00	良峯 徳和 教授	感情とは何か: 心と脳の働きをめぐって
6月30日 (木)	13:00～14:00	中村 その子 教授	英語コマーシャルの特徴と技法 - 消費者に訴える英語表現とは -
7月 7日 (木)	13:00～14:00	大森 映子 教授	江戸の科学技術

【お問い合わせ】多摩大学 公開講座事務局 TEL: 042-337-7300 E-mail: kouza@gr.tama.ac.jp